



クズの葉にたくさんの小さな虫が…

●メダカナガカメムシの観察

クズの葉の裏や表に体長3mmほどの虫が沢山ついています。小さくて肉眼では昆虫なのかハダニなのよくわかりませんが、ルーペで見ると、面白い顔をしたカメムシだとわかります。複眼が顔の横に飛び出してついている、メダカナガカメムシ科のメダカナガカメムシで、本州以南に分布しています。クズなどのマメ科植物の葉、葉柄、茎について吸汁します。ダイズやアズキを食害することもあります。吸汁部分は、やがて白い点になり、斑点に広がり、褐色になります。

成虫は4月から10月ごろまで見られます。越冬した成虫が春から活動し、初夏に産卵します。孵化した幼虫は成長して、夏に成虫になります。成虫のまま越冬します。前回6月の観察会で見た成虫が産卵し、いま見られる成虫はその次の世代です。前回よりも数が増えていますね。（鈴木信夫）



吸汁した痕が白くなる



メダカナガカメムシは複眼が飛び出してついている